



議席 番号	5	第 元11.27 号	受付 番号	1	令和 元 年 11 月 27 日 午前 8 時 30 分 受付
----------	---	------------	----------	---	------------------------------------

四万十町議会議長 下 元 昇 様

令和 元 年 11 月 27 日

四万十町議会議員 緒 方 正 綱

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

分野	質問事項（テロップ）	質問の要旨（具体的に記入のこと）	答弁を求める者
防災危機 管理	沿岸部の台風19号被害と 対応	(1) 台風19号の被害状況。	町 長
		(2) 被害にどう対処したか。	
		(3) 被害状況に応じた支援について。	
		(4) 災害廃棄物の処理について。	
	避難場所の拡充	(1) 異常気象時の避難場所について。	町 長
		(2) 大規模災害等、避難場所の見直し。	
	老朽危険家屋への対応	(1) 本町の老朽危険家屋の状況。	町 長
		(2) 周辺住民の不安をどう解消するか。	
水産振興	興津大敷網復活の可能性 について	(1) 現在の状況について問う。	町 長
		(2) 今後の進め方について。	
		(3) 弊害はないか。	



議席 番号	10	受付 番号	2	令和 元 年 11 月 27 日 午前 午後 8 時 33 分 受付
----------	----	----------	---	---------------------------------------

四万十町議会 議長 下 元 昇 様
四万十町議会 議員 中 屋 康

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

分野	質問事項（テロップ）	質問の要旨（具体的に記入のこと）	答弁を求める者
防災危機管理	四万十町地域防災計画について	1. 防災会議では毎年防災計画を検討し、内容について必要あるとき修正するとあり、直近では平成31年3月に改定をしているが、見直箇所の必要とされたポイントを聞く。 2. 本町の防災マップは直近で平成27年3月の改定とあるが、今時においてまだ改定の必要箇所はないか。 3. 毎年、雨の異常降水が増加する中で全国的に最大雨量への対応が進んでないと言うが、本町のハザードマップの中で洪水ハザードマップは現状に対応しているか。 4. 大正地区で今年度実施されている「土砂災害防災スイッチ」の取り組み概要と今後における全町に向けた考えを聞く。	町 長
林業振興	森林環境税について	1. 現在実施されている高知県森林環境税は、本町への事業実績として、どのように配分されているか。 2. 県の森林環境税と国の森林環境税（仮称）が施行された場合の関係はどうなるのか。 3. 2024年度から導入される国の「森林環境税」は譲与税として使い道を限定されるというが、その内容と使途計画は検討されているか。	町 長



議席 番号	3	受付 番号	3	令和 元 年 11 月 27 日 午後 10 時 00 分 受 付
----------	---	----------	---	--------------------------------------

四万十町議会議長 下 元 昇 様

令和 元 年 11 月 27 日

四万十町議会議員 林 健



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

分野	質問事項 (テロップ)	質問の要旨 (具体的に記入のこと)	答弁を求める者
消費者行政	環境政策について	①令和2年7月1日付けでレジ袋の有料化に伴う取り組みについて	町 長
		②エコバックの町内全戸配布について	
林業振興	林業行政について	①森林環境税の取組について	町 長
		②森林資源解析等業務及びシステムの構築の内容について (令和元年～3年まで)	
		③森林環境税の都市と地方の配分方法の違いについて	
		④配分額・使用方法と目的について (2033年以降は2億円位と思われるが、その用途は)	
		⑤職員増について	
林業振興 財産管理	町有林について	①境界・施業計画について	町 長
		②大正地区の百年の森について	
		③販売代金収入は一般財源だと思われませんが 機材 (運搬機) 等の購入の充当について	
財産管理	地域行政について	大正地区にある旧保育園の今後の活用について	町 長 教育長
児童福祉	里親制度の運用について	里親制度の運用について (小中学校) (旧保育所を寮として活用できないか)	町 長 教育長



議席 番号	4	受付 番号	4	令和 元 年 12 月 2 日 午前 午後 8 時 33 分 受付
----------	---	----------	---	--------------------------------------

令和 元 年 12 月 2 日

四万十町議会議長 下 元 昇 様

四万十町議会議員 古 谷 幹 夫

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

分野	質問事項 (テロップ)	質問の要旨 (具体的に記入のこと)	答弁を求める者
まちづくり	創生総合戦略を問う	① 第1期創生総合戦略の総括を問う (概要版で示した4つの基本目標毎に位置づけた KPI:重要業績評価指標の達成率を中心に) ○町民への浸透度をどう捉えているか	町 長
		② 第2期創生総合戦略への考え方を問う ○基本姿勢について ○コンサルタントへの委託の有無は ○新たに盛り込むキーワードの意味とそれらを 盛り込むネライは (SDGs、Society 5.0、関係人口の創出・拡大)	町 長
		③ 今年7月23日付で内閣府地方創生推進事務局 島田 勝則参事官名で公表した資料「地方創生の 現状と今後の展開」p16で、第2期における新た な視点として6つの項目が示されている。 そのうちの「地域経営の視点で取り組む」項目 として◆地域の経済社会構造全体を俯瞰して地 域をマネジメント◆とあるが、この視点を本町 の戦略にどう反映して策定する考えかを問う。	町 長
		④ 上記③に関連し、一般社団法人 持続可能な 地域社会総合研究所(藤山 浩所長)の活用を提案 するがどう考えるか	町 長
地産外商	地産外商推進計画の進捗 を問う	① 「バイヤーズガイド」の作成状況について聞 く(作成の目的、活用方法、住民への広報等)	町 長
		② 「地域商社」について問う ・ どのような組織か ・ 「地域商社」と呼べる組織は現在何社あるの か(部門内訳を含め) ・ 地産外商推進上の役割は ・ 確立への具体的な支援策は	町 長



議席 番号	12	元 12. 2 和	受付 番号	5	令和 元 年 12 月 2 日 午前 午後 9 時 7 分 受 付
----------	----	-----------	----------	---	--------------------------------------

令和 元 年 12 月 2 日

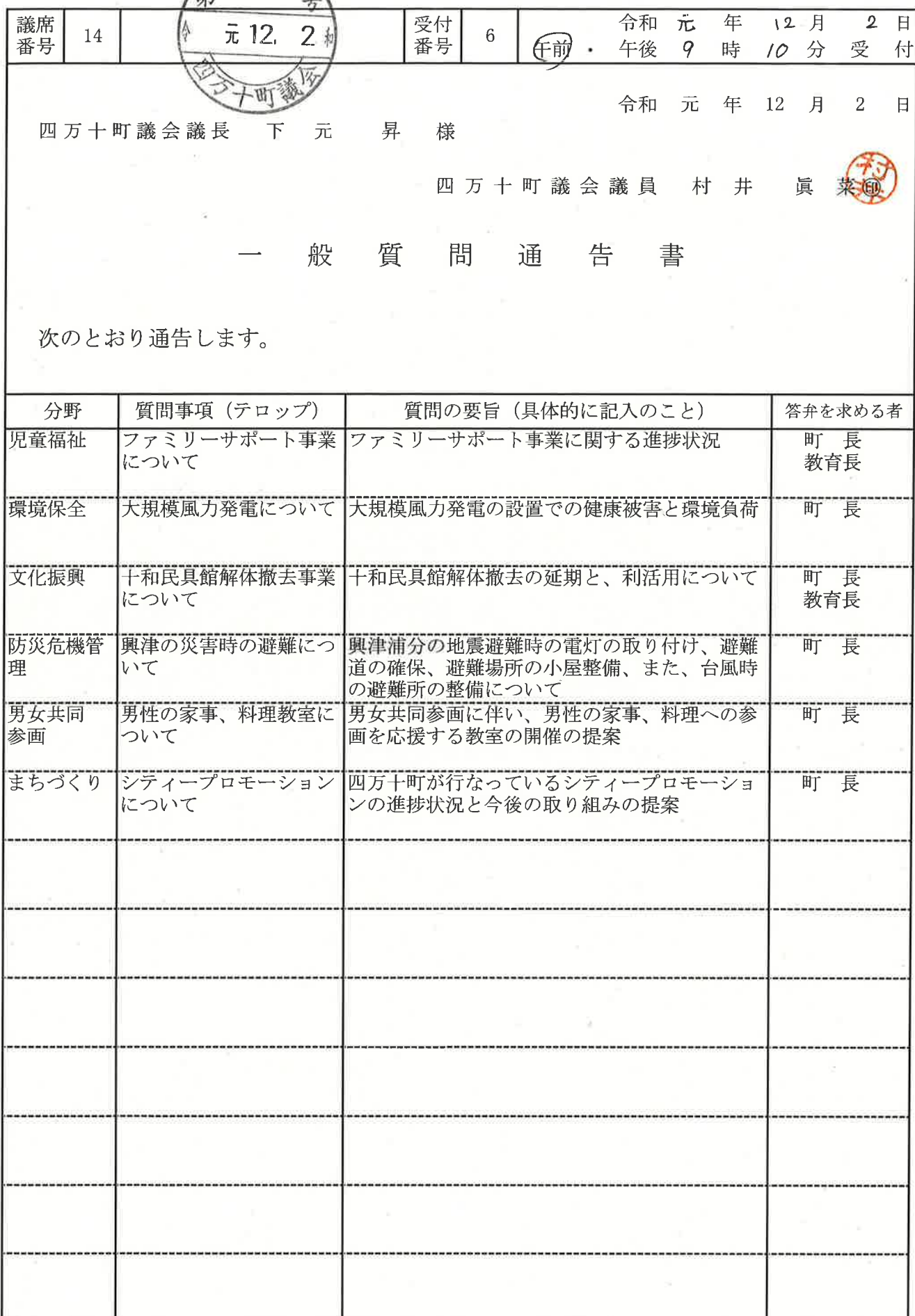
四万十町議会議長 下 元 昇 様

四万十町議会議員 田 邊 哲 夫

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

分野	質問事項 (テロップ)	質問の要旨 (具体的に記入のこと)	答弁を求める者
地域振興	地域自治区と地域振興局について	1. なぜ合併時に地域自治区制度を導入しようとしたのか	町 長
		2. 地域自治区制度の内容を聞く	
		3. 地域振興局で地域自治区制度をカバーしているか	
学校教育	学校統合について	1. 教育委員会が目指す、児童生徒像は	町 長 教育長
		2. 小規模小・中学校では児童・生徒にとって不利な点は何か	
		3. 学校が地域から消滅することによる住民への影響をどう考えるか	
		4. 保護者・住民の合意を前提に統合すべきと考えるか	
地域振興	風力発電事業計画について	①町にとってのメリットは？	町 長
		②町民の反対の声をどう考えるか	
		③四万十川水系の景観と河川の水質悪化をどう考えるか	





議席 番号	11	受付 番号	7	令和 元 年 12 月 2 日 午前 9 時 15 分 受付
----------	----	----------	---	-----------------------------------

令和 元 年 12 月 2 日

四万十町議会議長 下 元 昇 様

四万十町議会議員 岩井 優之介



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

分野	質問事項 (テロップ)	質問の要旨 (具体的に記入のこと)	答弁を求める者
人材育成 社会教育	教育文化施設研修をどう 活かすか	一、高校の存立など教育文化施設等の研修をどう活かすか 11月5日から7日島根県・鳥取県・岡山県を2泊3日の行程で4箇所の学校・文化施設を訪問し研修を行い、本町の課題にも活かせる研修内容であったと思うが教育委員会・人材育成センターとしてどう活かすのか。またどういう点が教訓的なのかお聞きする ①島根の留学制度と飯南町の留学制度(里親)等による(高校)高校存立の取組は本町の高校存立活動に活かさないか。教訓的な点は何か。 ②岡山県奈義町立図書館(美術館を併設した複合文化施設)現代美術館は近年人気が高まっている。 館長は学芸員で他職員、臨時職員14名いずれも司書の資格がある。極めて体制が整っている。 奈義町総人口5576人 ○本町の文化施設の体制をどう考えているか ③智頭町(鳥取県)人口6569人(新図書館整備に向けて準備中)智頭町は現在図書館を建設中で10年かけて町民が中心になって温めてきたものである。土日も利用できる公共施設として、気軽に相談できる窓口にもなる。10年前から職員が小学校へ行き、本の紹介や読み聞かせ活動を行い、本に興味を持たせている。 ワークショップでは子ども達の「こういう図書館っていいなあ」という要求を組織し、建設関係者も同席して、町民の願いを反映した図書館を目指している。 ○こういう智頭町の取り組みはワイワイと町民が来そうな予感私だけでないと思うが教育委員会はどう捉えているのでしょうか。 ④瀬戸内市民図書館総人口36053人、面積125平方km、この図書館は市民参加の「としょかん未来ミーティング」を経て、市民意見を取り入れながら平成26年6月に「持ち寄り・見つけ・	町 長 教育長

[illegible]

